



火焰樹

第321号 2010年04月号

広報部責任編集

発行：2010年04月01日

チェンマイ日本人会 Chiang Mai Japanese Association

Address : 99/32 Sridonchai Rd, T.Changklang, A.Muang, Chiang Mai 50100
TEL: 08-9266-0091 FAX: 0-5320-6979 Email: japanesecnx@gmail.com
info@cmjpa.org

≪ 事務所オープン時間：月曜日～金曜日 14時～17時 ≫

目次

- ☆ 事務局からのお知らせ
- ☆ 在チェンマイ日本総領事館より
「領事手数料改定について」
- ☆ 3月定例役員会報告
- ☆ 新入会員紹介
- ☆ 厚生部より
「健康・生活関連情報の一時休止
について」
- ☆ 運動部より
「第320回月例コンペの報告」
- ☆ チェンマイ日本人補習授業校より
「小学6年生・中学3年生卒業式
答辞」
- ☆ 趣味の広場
「チェンマイで映画を楽しむ」
- ☆ 広報部より
「第3回意見交換会について」
「第3回ハラ会の報告」
- ☆ 寄付の御礼

事務局からのお知らせ

●暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月は、恒例のソンクランの月です。水掛祭りに興じられるのを予定されておられる方々はくれぐれもお風邪をひかれないようにお気をつけください。

●日本人会事務所は、4月12日から16日は、ソンクラン休みのため休業いたします。19日は通常とおり業務いたします。

●アンケート調査の結果がまとまりましたので同封いたします。

ご協力いただきました方々ありがとうございました。忌憚のないご意見を頂戴しました。毎月行われております「意見交換会」をはじめ今後も皆さまの多く取り入れ会に反映させていく所存です。

●3月16日に第3回目の「意見交換会」が開催されました。

多岐にわたる項目に関する意見交換がされました。次回は、4月27日(火)の午後6時からを予定しております。



- 会員証を6月1日から皆さまにお渡しできるよう進めております。進行状況などホームページなどでお知らせいたします。皆さまのご意見をお待ちいたしております。

在チェンマイ日本国総領事館より

○領事手数料改定について

種 別 (通貨単位: パーツ)		改定 前	改定 後	
旅 券	新規発給 (更新及び 紛失・盗難 時の再発 給を含む)	10年 旅券	5,300	5,800
		5年 旅券	3,640	4,000
		5年 旅券 (12歳未 満)	2,000	2,200
	記載事項の訂正	300	300	
	査証欄の増補	800	900	
	帰国のための渡航 書	800	900	
証 明	在留証明(和文)	400	440	
	戸籍記載事項証明 (出生、婚姻等)	400	440	
	翻訳証明	1,460	1,600	
	署名又は 印章の証 明	官公署 に係る もの	1,500	1,640
		その他	560	620
	遺骨証明	840	900	
在留届出済証明 (英文)	700	760		
査 証	一般入国査証	1,000	1,080	
	数次入国査証	2,000	2,160	
	通過査証	240	260	

財務大臣が定める外国貨幣換算率の改正に伴い、2010年4月1日以降の領事手数料についても改定されましたのでお知らせします。主な改定内容は以下のとおりです。

なお、改定後の手数料については4月1日以降の申請受付分より適用されますので、3月末までの申請受付分につきましては、改定前の手数料が適用されます。



03月定例役員会報告

2010年03月17日、チェンマイ日本人会事務所にて03月度の役員会が行われた。主な議案は以下の通り。

● **3月3日に行われた北部日系団体協議会について**

赤シャツグループ関連の報道に注意。今後も抗議活動を続けていくと表明している。19日秋篠宮殿下のチェンマイ訪問(チェンマイ大学名誉博士号授与式への出席他)が予定されていたが、政情不安定のため取りやめとなったとのこと。そのほか2月中の邦人に係る犯罪等認知状況、草の根・人間の安全保障無償資金協力実績についての報告が総領事館よりあった。

● **ホームページについて**

先に開催された意見交換会で、規約(特に会の目的の部分)、会長の挨拶などを載せてはどうかとのご意見を頂戴したの

で、掲載を検討する。

● 火焰樹 2 月号同封のアンケート進捗について

3 月 1 日現在 31 名からの回答有り。(詳細は折り込みをご覧ください。)

● 会員への一斉連絡・火焰樹 PDF 送信について

今火焰樹に関しては、一部添付ファイルが開けられないというご意見を頂いた。多分パソコンのソフトの問題だと考えられるので、火焰樹バックナンバーを PDF 化してホームページに載せる再 PDF ファイルの見方を紹介する。現在、会員 332 名中 189 名の方にメール送信をしている。火焰樹の郵送中止の依頼も 7 件ほどきているが、折込チラシが入らなくなるので、今後は PDF 版火焰樹への広告添付、ホームページ上での広告の取扱いについても検討していく。

● 会員証の発行について

クレジットカードなどのようなプラスチック製にした場合、1 枚 45B することが判明。企業には、個人別会員証ではなく、企業あたり複数枚発行して使いまわしてもらうという案も出たが、会費を頂いているのだから個人の会員と同じように 1 枚ずつ配布が原則と言うことで意見が一致

した。会員証を協賛店で提示すれば特典が受けられるような仕組みづくりをする予定。協賛店の開拓、しくみづくり、HP や火焰樹での広報、会員証のデザイン検討、配布方法の決定などを進めながら 6 月 1 日からの会員証の運用開始を目指す。

● ランナー病院への嘆願書に関して

引ランナー病院通訳の方が今月 19 日付で退職されることになり、多くの日本人利用者にとって不便が生じることから、日本人会として新たに日本人スタッフを雇用してもらおうよう病院側に嘆願書を提出した。事前に病院側の経営的意図などさまざまな情報が行き来したが、院長の話によると、今後も日本人を雇用する予定であるとのこと。

● 次回の定例役員会

4 月 21 日(水)に実施することが決定。

各部からの報告

【会計部】 4 月 1 日より中氏から中村氏に業務を引き継ぐ。

【運動部】 定例コンペは 21 日メージョー GC で開催予定。申し込み者 20 名。

日タイ親善ゴルフについて 5 月 16 日開催予定。合い見積りの結果例年どおりロイヤルチェンマイゴルフクラブでの開催の見込み。今月中に案内状を作成し、4 月 1 日付で発行する。今回は第 20 回と言うことで、シュミレーションの結果、参加費 1,500B で予算編成を行う。運動部メンバーが総替わりする中、一層の協力が



必要と言うことを念頭に役割分担をしていく。

【教育部】 補習校運営委員長が LTEC 小林社長に交代になる。3 月 27 日に卒入学式の予定。教育部担当を HOYA 肥後氏から HOYA 斉藤氏へ交代する。

【厚生部】 特になし。

【生活支援部】 ハラ会からの報告としては、①今年 10 回目となるバザーを如何に盛り上げ、家族全員で楽しめる行事にするか②子供の医療についての 2 点を中心に話し合われている。また、13 日子ども会(就学前の子どものサークル)の卒園式が行われた。「チェンマイ日本人会」という狭い枠にとらわれず、「日本人社会」として考えたときに、こども会はとても大切な働きを持っているし、小さな子どもたちが伸び伸びと安全に卒園式をできるようにということで、費用の一部を支援させていただいた。ご理解いただきたい。3 月 24 日にお食事会を実施予定。(「生活支援部より」参照)

【文化部】 特になし。

【接待部】 25 日御茶ノ水大学学生が事務所を訪問。ロングステイ、企業研修、王朝と皇室などについて 1.5 時間ほど話した。26 日長浜市議会議員が事務所を訪問。会議についての質問あった。マコーミック病院マーケティング部より、日本人市場への参入について相談があった。今月訪問者の予定は特になし。

【登記部】 なし。

【広報部】 投稿規程・折り込みチラシの条件などの見直しをホームページとの関連性を考慮しながら行っている。

新入会員紹介

☆櫻井謙二様

THAI NJR CO. LTD

皆さんこんにちは。2月15日福岡から赴任して来ました櫻井です。

過去出張で何度かチェンマイを訪れていますが、今回が16年ぶりとなります。身体に気を付けて頑張って行きますので宜しくお願いします。

☆広沢京一様・広沢幸美様・広沢杏香様(広沢様のご家族として)

Murata Electronics (Thailand), Ltd.

この度、家族3人でチェンマイでの生活を始めました。なれない土地での生活に家族全員が不安でいっぱいですが、早く文化や気候にし馴染んで、いろんなことを楽しみたいと考えています。よろしくお祈りします。

☆大槻勝巳様

Murata Electronics (Thailand), Ltd.

村田製作所Thailandの大槻と申します。京都市の出身で、チェンマイを基点をして国内外いろいろまわりたいと思います。よろしくお祈りします。

☆河野秀司様

Thai NKD Co., Ltd

2月から赴任して参りました。宜しくお願いします。



		本 会 員	家 族 会 員	合 計
名 誉 会 員	---	0	0	0
正 規 会 員	日 系 企 業	209	28	237
	個 人	70	25	95
現在の総会員数				332

(03月17日現在)

厚生部より

2年間にわたってお届けしてまいりました「健康・生活関連情報」ですが、前回3月号をもちまして、いったん休止させていただきますこととなりました。

ご多忙にも関わらずご協力いただき、有意義な情報、アドバイスをご提供いただいた各病院の通訳の皆様方、医療関係者の皆様方には、この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

健康や医療の問題は、海外で暮らす私たちにとっては最大の関心事の1つであると思います。今後は、これまでとは少し形を変えて、会員の皆様への情報提供を続けていきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

*ご要望・ご意見等々ございましたら、日本人会の事務所もしくは、E-mail アドレスまでお寄せください。

運動部より

3月21日(日)にメイジョーゴルフ場にて第320回月例コンペを開催。6名のゲスト参加(初参加2名)となり前々回から多くの新人の方々に参加頂きました。参加人数は20名で、メイジョーゴルフ場初プレーや久しくメイジョーでプレーされていなかった方々も多く新鮮かつ斬新なコースレイアウトに盛り上がりを見せました。優勝はアウト50、イン45、グロス95、ネット71で青山(ECT)さんが見事優勝。ベストグロス賞は81で小田さんが受賞されました。

4月(ソクラーン休暇)、5月(日タイ親善友好ゴルフ大会のため)はお休みとなり、第321回月例コンペは6月20日(日)にチェンマイハイランドにて開催予定です。是非、多数のご参加をお待ちしております。



成績

【大会】 第320回 チェンマイ日本人会 ゴルフ同好会月例コンペ
 【日時】 Sunday, March 21, 2010
 【コース】 メイジョーゴルフ場

順位	競技者氏名	所属	アウト	イン	クロス	H/D	ネット	備考	NEW H/D
1	青山	ECT	50	45	95	24	71	NP(14)	18
2	飯島	KYOCERA	43	39	82	10	72	NP(2)-DC(6)-2ND(1)	8
3	小田	LS	41	40	81	6	75	BG	5
4	荏司	TCT	52	45	97	20	77		
5	武田	TPT	46	48	94	15	79		
6	中村	TTC	60	56	116	36	80		
7	渡辺	OKI	47	46	93	12	81	NP(7)	
8	原	SWK	45	43	88	6	82	NP(17)-DC(16)	
9	宮田	TPT	54	65	119	36	83		
10	橋尾	KEIHIN	50	50	100	16	84		
11	中	HKD	45	46	91	6	85		
12	河津	YUSEI	47	39	86	0	86	2ND(11)	
13	高尾	ECT	47	53	100	14	86	B.B	
14	木村	CLL	54	58	112	20	92		

ゲスト氏名	所属	アウト	イン	クロス
志村	KEIHIN	53	60	113
松田	KYOCERA	54	53	107
山田	KYOCERA	60	61	121
手塚	KYOCERA	65	64	129
森川	TPT	60	47	107
浅野	SUS	56	55	111

NEW H/D
22
28
24
36
G1
G1

補習校より

今回は6年生・中学生3年生です。
 共に3月27日に卒業を迎え、卒業式内にて答辞として読みました。

補習校の思い出 6年 木嶋洋貴

3年前、ぼくは、タイ、チェンマイそして、補習校に来ました。最初は土曜日に学校があるという事になじめませんでした。平日、インターナショナルスクールで英語を使い、土曜日は補習校で日本語を使うという事は、来たばかりの僕にとって難しい事でした。しかし、日本語が次第に思い出せなくなってくると、補習校の大切さを理解できるようになりました。チ

ェンマイに居る僕にとって日本語を思い出せる所だとこの3年の間に知りました。その補習校で1番印象に残っている行

事は「お楽しみ会」でした。ぼくの行っていた日本の学校では、1年生から中学生まで力を合わせて、笛を作ったり、ハンバーガーを作るなどという事はしないので、いい経験になりました。しかし、補習校の行事は大人の人が考えた事が多いので、生徒の意見を反映させると、さらにいい行事になると思います。このクラスで、印象に残っているのは、時計を壊してしまった事や、静電気で遊んだ事などです。このクラスは面白くてやんちゃな人が多く、ドアにペンをはさんで先生がドアを



開けるとペンが先生に落ちるといった
ずらをしました。3年の間、色々な行事が
ありましたが、やはり1番の思い出はクラ
スの仲間とふざけた事です。中学生にな
ってもこの補習校でがんばりたいと思っ
ています。

私の将来 6年 久保田吏恵

私は、歌を歌うのが好きだから将来は
歌手になりたいです。以前は、私はあま
り歌が好きじゃなかったけれども、今はよ
く歌を聞いて、見て、覚えて好きになりま
した。私は8才くらいの頃から歌手になり
たいと思いました。歌手は、顔がきれいじ
ゃなくてもいいけれど、声はよくないと、
聞く人は、歌手が何を歌って
いるか分からなくなって歌が
売れないかもしれません。私
の声は、良いか悪いか分かり
ませんが、私は歌手になっ
て、いい声でいい歌を作って
みんなに聞かせたいと思っ
ます。



補習校の思い出 6年 西山サユリ

私は、5年間この補習校で勉強しまし
た。私は、この補習校ではみんなでおん
だり笑ったりいっぱい思い出ができま
した。私は、今、小学6年生。6人の友だ
ちと楽しくやっています。今の6年生のメ
ンバーは、授業中でも休み時間でもずっ
と口が閉じません。口が閉じて静かにな
るのは、お弁当の時間、つまりお昼休み
のお弁当を食べている間だけ、みんなの
口はお父さんやお母さんが作ったお弁

当をパクパク口に入れていくのです。い
つもうるさいので急に静かになるとものす
ごく変な気分になります。

私がこの補習校へ入って来たのは、5
年前。私は2年生で日本から引っ越して
きたばかりで恥かしがりやな子でした。最
初、補習校の入り口に入って行ったら、
みんなが目の前で学年ごとにいっぱい
並んでいました。私は、ものすごく恥かし
くてみんなの前で自己紹介すらできませ
んでした。それでも教室に入ったら、先
生や同じ学年の友だちと一緒に遊んで
くれました。だから、私は今までずっと一
人ぼっちで考え事をする事もなく、みん
なとなかよく5年間を過ごせました。だか
ら、これからも新しい思い出を作って過
去の思い出も自分の心にしまっておいて、
時間がたったら、その思い出の心のタン
スを開けて懐かしく思い出したいと思っ
ています。

将来の夢 6年 望月結太

ぼくは、大人になったら、お父さんとお
母さんを世界一周旅行に連れて行きた
いです。そのためには、ぼくが一生懸命
働いてお金をかせいでから外国へ行き
たいと思います。まず最初に、お母さん
が行きたいと言っているイタリアの首都ロ
ーマへ行ってピザとスパゲッティを食べ
たいです。お父さんは、アメリカのディズ
ニーランドへ行って思いっきり遊びたい
そうです。僕は、トルコでモチモチのアイ
スクリームを食べたいです。なぜなら、日
本にいる時、「愛・地球博」で食べられな
かったからです。他にも、みんなでおエジ

プトのスフィンクスやピラミッドを見てみたい
です。世界一周旅行は、お母さんが、
「列車で行きたい。」と言っています。そ
のほかにも、色々な国や、物や、動物も
見てみたいです。

私の思い出 6年 岡桃菜

この一年間を通して私はさまざまな貴
重な経験やたくさんの人に出会いました。
特に補習校やインターでは日本ではで
きないいろいろな事にチャレンジできまし
た。全校生みんながハンバーグ弁当を
食べたり、楽しい運動会があったり楽し
かったです。6年になるとインターの宿題
が多くなり、補習校とインターの宿題を両
立する事が少し難しくなりました。一度、
宿題が終わらなくて大変な思いをしたの
ですが、「きちんと両立する」という、大切
な事を学びました。良い経験だったと思
います。補習校では、自分たちが習った
事を発表する機会があり、みんなが習っ
た事を聞けたり、発表したり、とても役に
立ちました。インターのキャンプでホーム
ステイしたり、チェンライに旅行に行っ
たりと、この1年は、本当に充実した1年
でした。



将来の夢 6年 三上瑞生

私の将来の夢は絵本作家になること
です。ほのぼのとした動物の絵本を書き
たいです。そして、わたしの書いた絵本
を読んだあと、読者の人たちの心が温
まる話です。何故、絵本作家を目指し
たか、そして、なぜ動物の絵本なのか
かというと、
1. 動物が好きだから。2. 想像する
のが好きだから。3. 幼稚園の頃、寝
る前の読み聞かせが好きだったから。
4. 書く事が好きだから。です。お母
さんが言った話ですが、初めて絵本を
書いたのは3歳のときだそうです。字が
書けなかったのでお母さんに字を書
いてもらい、わたしが絵を描いたそう
です。なりたい職業がもう一つあり
ます。それは、動物園の飼育係です。
特にライオンやトラなどの哺乳類の
飼育係になりたいです。理由は動物
が好きだからです。これから先、他
にもなりたい職業ができるかもしれ
ないけど、今は絵本作家になれるよ
うにがんばりたいです。

補習校での思い出 6年 藤田 一輝

ぼくの補習校での思い出といえば、
やはり共に学んだ多くの友達に関す
ることが一番の思い出です。ぼくは
補習校へ一年生から六年生まで六
年間通っていたので、数多くの思
い出が心に残っています。補習校
へ通った六年間はたくさんの友
達もできましたが、結局、僕
のように一年生から六年生まで
六年間通った生徒は、ぼくの学
年には自分を含めて三人しか
いません。年中、新しい人が来

たり、クラスの仲間が帰国したり、出会いと別れの繰り返しでした。お別れのあいさつは何度したか覚えていないほどです。それから、もうひとつは遅刻のことです。毎週、土曜日の朝、早く起きて、朝食をとり普通に家を出たつもりでも遅刻をしてしまうことが何度かありました。家から補習校へは近いはずなのに遅刻をしてしまいます。学年当番の週も遅刻してしまっただけではありません。ところが、その後、引越しをして補習校への通学時間は今までの二倍もかかるようになりましたが、逆に一度も遅刻をしていません。実は学校から家が遠いほうが遅刻しにくくなるということがわかりました。そういえば塾に通うときも同じだったような気がします。

また、ぼくは確か三年生の時、学年の中で一人だけの男子で他は全員女子になった時がありました、あの時は女子に囲まれて大変な思いをしました。

ぼくは、いろいろなことを補習校で学んできましたが、補習校で過ごせる時間はこれが最後になってしまいました。他の六年生は補習校の中学へ行きますが、ぼく一人だけ、この卒業式を終えると、日本に帰国し、日本の中学校に進学します。ぼくの行く中学は帰国子女を受け入れている学校なのですが、補習校で学んだ国語と算数のおかげで入学試験に合格することができました。もし補習校に通っていなかったら言葉も良く分からないまま日本の学校にも行けず、ずっとタイにいななければならないことになっていたかもしれません。六年間ぼくたちを支えてくれた学校の先生や補習校のみなさんに感謝します。日本へ行っても皆さ

んのことは忘れません。ありがとうございました。

「なかま」を合言葉にいろいろなことに挑戦した6年生。思い出は走馬灯のように廻ります。社会見学でお寺の博物館を訪ねたこと。今度こそは勝つぞと燃えた運動会。小さい1, 2年生をサポートしながら作ったお楽しみ会でのハンバーガーの味。クリスマスや節分のサプライズ。平和の砦を築く人になることを決心した学習発表会。挙げればきりのない思い出の数々。卒業を前に、補習校の思い出と将来の夢を作文にしました。夢をともに追いかけることが出来る素敵な「なかま」です。中学生になっても元気に頑張ってくれることでしょう。支えてくださったお父様、お母様、ご協力ありがとうございました。皆さん、卒業おめでとうございました。(チェンマイ補習授業校6年担任 沖村真紀)



答辞

中学3年 石原 和吉

僕はチェンマイ補習校で9年間勉強しました。この9年間で楽しかったことや辛かったことなどいろいろなことがありまし

た。辛かったことの一つが漢字の勉強でした。

僕は漢字の勉強が大変だったので、小学3年生の時に一度漢字を諦めました。その結果、漢字があまり読めなくなってしまったので、国語の教科書とか漢字がある文章が上手く読めなくなりました。中学生用の教科書は難しい漢字でいっぱいなので、とても苦勞しました。

今、補習校の後輩たちの中にも、漢字は難しいので好きじゃないと思っている人がいるかもしれません。でも、すぐに諦めないでください。学校で覚えられなかった漢字はその後、家で何回も練習して頑張っ覚えてらいいと思います。

この9年間、僕はほとんど休まず補習校に来ました。補習校に来ると、日本人の友達や先生と日本語で話せるし、日本語を書いたり読んだりもできます。でも、もし補習校に来ていなかったら、日本語もほとんど忘れてしまっただろうし、日本人だという感覚もあまり持てなくなっただけかもしれません。

話は変わりますが、僕はチェンマイに来てから水泳を習い始めて、約9年間続けました。時々、嫌なことや辛いこともありましたが、それでも毎日頑張っ泳ぎ続

けました。僕はこの水泳から、一生懸命頑張れば何でもできるようになるということを学びました。



今はもう水泳を止めてしまいましたが、僕にとって水泳はとても大切なものになりました。僕と水泳との関係はちょうど僕と補習校との関係にも似ていると思います。

補習校の後輩のみなさん。僕と同じように、心から熱中できることを何か見つけてみてください。そうしたら、チェンマイでの生活が様々に広がっていくと思います。みなさん、頑張ってください。

そして、9年間いろいろと問題があった僕をここまで引っ張ってきてくれた先生方、ありがとうございます。最後に、心のこもったサポートをしてくれたお父さん、お母さん、ありがとうございます。

今回は平成21年度中学部卒業生に答辞を書いてもらいました。2人いますが、その1人の作文です。

小学1年から通い始めて今まで9年間、とてもよく頑張ってきた大先輩です。楽しいこと、大変なこと、いろいろありますが、その想いがよく伝わってくる作文になりました。

コメント: 中学2、3年国語担当 野沢 潤

趣味の広場

今月号からの新コーナーです。このコーナーでは、会員の皆様から趣味や余暇活動に関する情報やコラムなどを募集し随時掲載していきます。趣味の活動報告や、耳寄り情報、サークルメンバー募集など、どしどしお寄せ下

さい。

●第2回目●

『チェンマイで映画を楽しむ』

日本では2000円近くする映画鑑賞もチェンマイでは、高くても600円前後で観賞することができます。

作品によっては日本よりも早く公開される場合もあるので、少しは得した気分になれたりします。

ただ、字幕はタイ語。近年多いスパイものや政治が絡んだものなど日本語字幕があってもわかり辛いのに字幕なしではましてや、ですよね。それでも中には映像だけで楽しめるもの(アニメーション・アクションもの)もあるし、話題の映画となると一応は観ておこう、という気で観るのもひとつです。そういう意味においては、昨年末から話題となった、「アバター(AVATAR)」は、3D(3次元映像)という映像効果の宣伝文句も相成って多くの人が観たようです。

正直、チェンマイにおいて3Dの映画を観られるとは思いませんでした。興味本位で観られると謳っていた劇場に向かったら、ちゃんと「メガネ(?)」が用意されていました。3Dというどうしても子供の雑誌のイメージがあって紙でできているのかと思ったのですが、意外(?)にもしっかりとした作りでした。しかしながら、「アバター」での問題は168分という長さ。

普段メガネをかけている者にとってその上にさらにメガネをかけての観賞は、苦痛でした。この作品の前に「UP(カール

おじさんの空を飛ぶ家)」というアニメーション映画があつて、それも3Dで上映可能であつたのが、準備がされてなかつたのか観られなかつたが残念でした。作品の出来からいうと「アバター」より遥かに優れていると感じたのでなおさらでした。日本でもDVDが出ているのでまだご覧になられてない方は是非。どの年代でも楽しめる作品です。「アバター」で3Dの設備が完備されたのか、その劇場ではその後の3D効果がある映画はメガネをかけて楽しめるようです。個人的には映画というのは2Dの世界のものと思っているので3Dに対して抵抗があります。しかし、最近の流れを見ているとそのうち、ハリーポッターもジェームス・ボンドも3Dで観賞、となる勢いです。皆さんも映像を楽しむという意味でご覧になられてみてはいかがでしょうか。

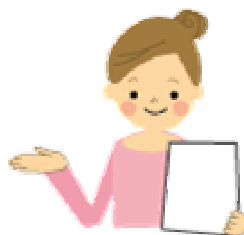
※3D映像は、エアポート・プラザ内の映画館にてご覧になれます。

(投稿者 谷口)

広報部より

① 第3回意見交換会について

3月16日18:00より日本人会で3回目の意見交換会が開催され、13名(会員8、役員4)が集い、自己紹介の後、活発な意見交換がなされました。



まず会長からランナー病院通訳の退職の話がありました。ランナー病院で近日目の手

術をする予定の患者さんから、「通訳の方が辞めると聞いて大変困っている、1人ではアピールも弱いので是非日本人会として病院に嘆願要請してほしい」という話があり、これを受けて実際にランナー病院の通訳さんに事情をうかがった上で後任の通訳採用についての嘆願書を提出することになった旨、皆さんに報告しました。これを受けて、女性会員からは、「小さいお子さんのいるお母さんはランナー病院を使っている人が多い。女性の通訳なので気がおける。」とのこと。また「社会保険指定病院にしている方も多いため、通訳がいなくなると困るのでは？」という意見もあった。参加者から次々と各病院の情報が出されました。特にマコーミック病院では日本人の通訳を募集しているとの話も出ました。



また今回初参加のパヤップ大学の先生からは、在外子女の継承語としての日本語教育の問題について日本人会として取り組んでもらえないか？という話がありました。この在外子女とは1, 2年間ではなく長期海外で暮らす子やここで生まれ日本には帰らない子どもたちのことで、補習校在籍生徒の比率からも分かるとおりにここ数年増えてきているそうです。この傾向は今後も変わらないであろうし、どちらかと言うと増加傾向であることから、しかるべき団体でこの問題について取り組んでいくことの必要性をここで定

義したいとのことでした。もちろん言いつぱなしではなく、自分も汗して働くつもりはあるとのご意見でした。先生の話によると、以前篠原総領事の時代に総領事館が中心となって調査を行ったこともあったそうです。また現在個人的に在外子女の継承ご教育に取り組んでおられる先生もいらっしゃるということでした。意見交換会参加者の中では、この問題についてこれから2重国籍のお子さんを持つご両親へ向けたパンフレットを作成しているという話、日本の村おこしを必要とする地区の教育委員会と掛け合って短期間の日本留学を実現しようとしている話などが紹介されました。あわせて補習校のあり方についても話が及び、現在補習校の運営のあり方を改革されているというお話もできました。(このあたりについては次回の火焰樹「補習校より」で紹介いたします。)補習校の運営委員もされている参加者の話では、「補習校の成り立ちは従来企業関係者の子弟の勉強会でスタートしており、日本に帰り就学する子供たちを対象としていたが、近年は半数以上が2重国籍の子供になってきている。日本に帰れる学力を維持することを目的とした学校なので、それなりの試験が行われ、入学できた子供たちは(親は)かなりの努力をしていると言える。」とのこと。他の参加者からは、在外子女のための日本語教育ということを考えた場合、日本で就学するレベルの教育は不要、読み書きができればいいのではないかと？という日本語学校があれば・・・との意見もありました。「極論すれば法人化した日本人会の組織化において学校を運営す

ることも可能」補習校は企業が支援、二重国籍の在外子女については日本人会で」との見解もありますが、まずは現状把握(対象人数・年齢幅・ニーズなど)をした上で検討と言うことになりました。

もう 1 つの話題はホームページ(HP)についてです。今の HP の最初のページには、目次があってボタンをクリックすると詳細ページに入っていくのが HP の基本的な構造です。これについて「他の団体・企業の HP と比較したときに、どこの HP にもその団体の目的が掲げられていますが、今のチェンマイ日本人会の HP にはそれがない。HP 作った人は会のことを良く知っているのだから違和感がないのかもしれないが、メール外部の人間には分からないので、会の目的(規約の第 3 条)と会長の挨拶を入れるべきである」というご意見を頂きました。HP に関しましては、事務局・広報部中心で情報掲載を始めたところです。これからの皆様方のご意見を取り入れながら改善して生きていきたいと考えています。また会報「火焰樹」の郵送・メールマガジンの配信などとあわせて、情報の継続性・公平性・透明性を考慮した情報提供の形を模索していきたいと思っております。

・・・今回は、大きく 3 つの課題に集中した話し合いとなりました。次回以降は意見交換会のトピックスを事前に御連絡できればなあと考えております。

この記事に対するご意見・ご感想などありましたら、是非御連絡ください。

次回の会合は、4月 27 日(火)18 時からです。夜は参加しにくいというご意見も一

部頂いておりますが、始まったばかりなので、しばらくこの時間帯で継続させていただきたいと考えております。ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

② ごはん食べる会改め「ハラ会」のご報告

3月 5 日(水)、ニマンヘミン通りの北タイ料理レストラン『トーン』で、おいしくリーズナブルな北タイ



料理を楽しみながら、3回目の『ハラ会』を行いました。和気あいあいとした話し合いの中で今回はバサールの進め方、子供に関する講演会、日本人会の活動方法について、さまざまなアイデアや意見がでましたのでご報告いたします。

出席者:橘内さん(進行)、荻田さん(進行)、相良さん(書記)、光明さん、木嶋さん、佐保さん(書記補助)、石黒さん、押山さん、清水さん、永井さん、菅さん、谷口さん(事務局長)

<今年の活動予定>

1. チャリティー バザーについて

1) 家族みんなで参加できる行事にしたらどうか。

・子供のための遊び場を用意するなどの工夫をする。

・子供参加型のバザーを新たに開催したらどうか。例えば、子供用品限定で子供にも販売を体験させるバザーを数ヶ月に一度開催する。

2) 開催時期

例年通り11月に開催できれば、バザーの収益金を12月に開催される県知事公邸でのイベントの中で寄付することができ、日本人会を広く知ってもらえる機会になるので良いのではないかと。また、気候的にも一番良い時期なのでベストでは

ないか。ただし、11月は行事が重なるため、そのことも踏まえて今後も検討していく。

3) 出品アイテムについて

- ・手作り用品などの寄付を募る。
- ・食品は食中毒などの恐れがあるので難しいが、あられ等傷まない物の販売を増やしてみてもどうか。
- ・衣料品は昨年売れ残りが多かったので、売り方を工夫したらどうか。(上下セット、マネキンに着せる等)

4) バザーの準備&運営方法について
バザーには毎年たくさんの方々にご協力頂いているが、今後はアイテム別にグループを作り、当日だけでなく、値付けなどの準備から販売方法までトータルで各グループが各々に進め、全体管理を生活支援部で行うという方法がいいのではないかと。

2. 子供の医療に関する講演会について

厚生部との話し合いが進行中。具体的にどのような内容の講演をしてほしいか(薬について、タイにおける健康管理の方法など)子供を持つ会員の方々から意見を聞き、そのお母さん方のグループが企画立案などを中心に進めて、厚生部には全体的な管理や手配など依頼する方向で相談を続ける。

<活動の新アイデア>

1) 「ハラ会」とは別に、日本人会の会員が気軽に話ができるような場を設けてはどうか。レストランを一定時間貸し切り、その時間に気軽に行き自由な話せる場を定期的に設ける。

2) 今後も無理なく楽しく活動が続けていけるよう、会員をいくつかのグループに分け、以前のお世話係のように担当者を決め、その方を中心にグループで活動に参加してもらおうようにしてはどうか。グ

ループの分け方(育児中のグループ、趣味の会、ボランティア、食事会・バザー実行委員会など)は、3月24日のお食事会などで話し合いの上、検討していきたい。

<活動の報告>

以前、“ハラ会”の集まりで子供会(小学生以下のお子さんを持つご家族と子供達のサークル)に対して、日本人会で何らかのサポートが可能かどうか?と、言う声が上がった。それを受け日本人会・生活支援部で、3月13日(土)の子供会卒業式会(マニナラコーン・ホテル)の手配、及び会場費の一部をサポートする事になった。

<次回の予定>

4月の「ハラ会」はお休み致します。
5月につきましては、また後日追ってご連絡致します。



広報部では、出来る限り会員の皆様・各部の活動現場を訪問し、火焰樹を通じて皆様にお伝えしていきたいと思っております。また、会員の皆様の中で他の会員の皆様にもお知らせしたいお役立情報などがありましたら是非広報部までお知らせください。



寄付の御礼



タイヒロタ菅原様からグローブ14個寄付頂きました。現在役員会にてソフトボール大会の復活を企画中です。有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

今月号の折り込み内容

チェンマイ日本人会アンケートの集計結果
ヒロ・アジアプロジェクト 賃貸物件に関する広告

【新】 日本人会会費振込先

銀行 : BANGKOK BANK
支店 : CHIANG MAI SRIDONCHAI ROAD BRANCH
口座番号 : 7180034386
口座名 : CHIANG MAI JAPANESE ASSOCIATION
年会費額 : **ご本人様 1,200ﾊﾞｰｯ(100ﾊﾞｰｯX12ヶ月)**
ご家族様 600ﾊﾞｰｯ(50ﾊﾞｰｯX12ヶ月)

【旧】 日本人会会費振込先

銀行 : SIAM COMMERCIAL BANK
支店 : NORTH INDUSTRIAL ESTATE AUTHORITY OF THAILAND BRANCH
口座番号 : 799-232583-5
口座名 : MR. HIDEAKI NAKA (CHIANG MAI JAPANESE ASSOCIATION)
年会費額 : **ご本人様 1,200ﾊﾞｰｯ(100ﾊﾞｰｯX12ヶ月)**
ご家族様 600ﾊﾞｰｯ(50ﾊﾞｰｯX12ヶ月)

* 日本人会会費の振込先に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

【会計担当者が変わりました。】

会計担当 : 中村 08-6020-2660

日本人会事務局: 08-9266-0091 及び japaneseconx@gmail.com

チェンマイ日本人会会員データ変更のお知らせ

会員の方で住所等が変更になった場合は、下記の用紙にて事務局までご連絡をお願い致します。

----- 切り取ってお使いください -----

To: 事務局 Mr.Junji Taniguchi
電話番号: 08-9266-0091 FAX: 0-5320-6979
郵送 C9/99 Sridonchai Rd. T.Changkhan, A.Muang Chiangmai 50100

会員氏名	漢字	(姓)	(名)
	ローマ字		
家族会員	漢字	(姓)	(名)
	ローマ字		
住所(英語表記)			
電話番号	(自宅・勤務先)		
	(携帯電話)		
ファックス番号	(自宅・勤務先)		
Eメール・アドレス			
勤務先			